

「伊丹市公共下水道事業における ウォーターPPP」説明会

令和6年12月26日

伊丹市上下水道局整備保全室下水道課

目次

1. ウォーターPPPの概要について	-----	P. 1～P. 2
2. 導入検討の経緯について	-----	P. 3～P. 4
3. 第1回アンケート結果の概要について	-----	P. 5～P.14
～質疑応答～		
4. 「伊丹市公共下水道事業における ウォーターPPP」の今後の方針（案）について	-----	P.15～P.18
～質疑応答～		
(参考) 今後のスケジュールについて	-----	P.19

1. ウォーターPPPの概要について

1.1 ウォーターPPPの概要

ウォーターPPPの概要 [管理・更新一体マネジメント方式の要件]

内閣府ホームページ

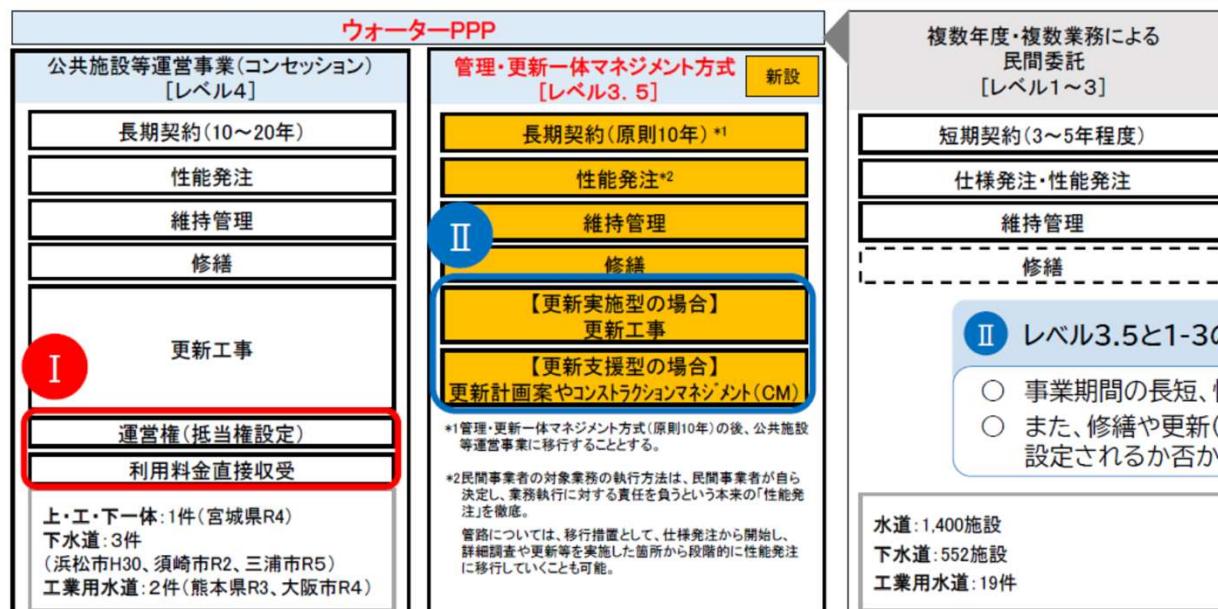
①長期契約(原則10年) ②性能発注 ③維持管理と更新の一体マネジメント ④プロフィットシェア

概要とポイント・留意点

○ レベル3.5の実務上の定義は、上記の要件①から要件④までをすべて充足する民間委託

I レベル4と3.5の比較

- 長期契約、性能発注、維持管理と更新の一体マネジメントが重視される点は共通・類似
- 公共施設等運営権設定と利用料金直接収受の有無が異なり、また、事業期間の自由度はレベル4の方が高い



II レベル3.5と1-3の比較

- 事業期間の長短、性能発注の程度が異なる
- また、修繕や更新(改築)に関する業務範囲が設定されるか否かの点で大きく異なる

水道: 1,400施設
下水道: 552施設
工業用水道: 19件

2. 導入検討の経緯について

2.1 安定的な下水道事業運営に向けて

▶ ウォーターPPPの導入が要件化

「污水管の改築に係る国費支援に関して、
ウォーターPPP導入を決定済みであることを令和9年度以降に要件化する」

▶ 伊丹市下水道事業における交付金実績（抜粋）

污水管改築に 対する交付金事業	交付金実績（百万円）		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	125	125	120

▶ 安定的な下水道事業運営に向けて

将来にわたり、安定的に継続して運営するためには？

国からの交付金は極めて重要

伊丹市下水道事業においても
ウォーターPPPの導入可能性を検討

3. 第1回アンケート結果の概要について

3.1 第1回アンケート調査の目的

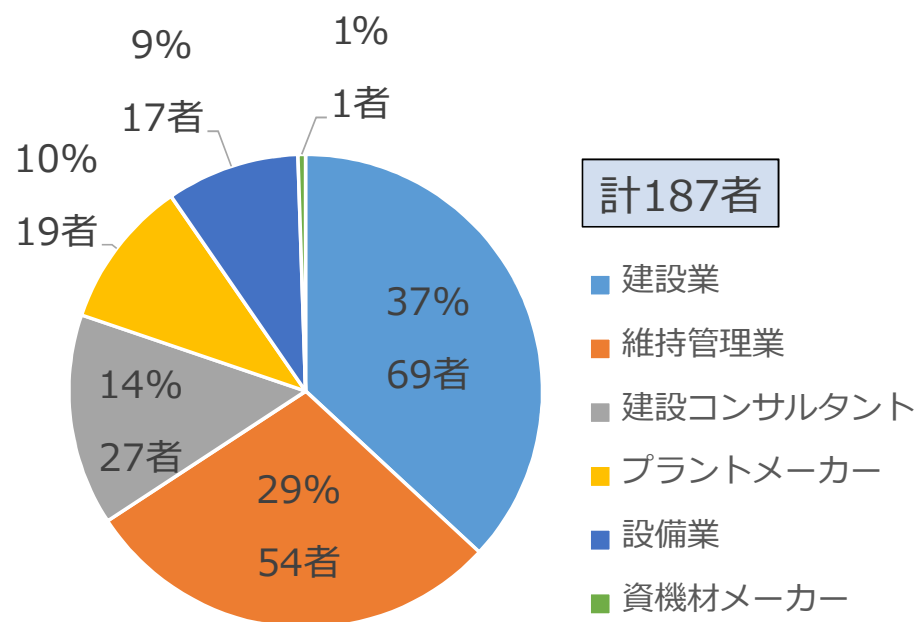
▶主たる目的

- ・ 関連事業者のウォーターPPPに関する関心度合いを調査
- ・ 本市が下水道事業におけるウォーターPPP（以下、WPPP）を入札・公募した際にどの程度の参入見込みが立てられるのかを調査

3.2 アンケートの回答率

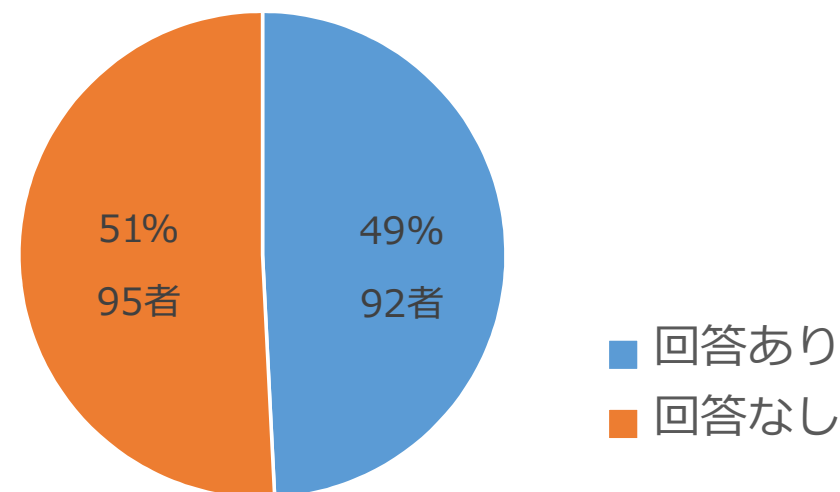
▶ アンケート依頼

依頼事業者業種別一覧



▶ 回答結果

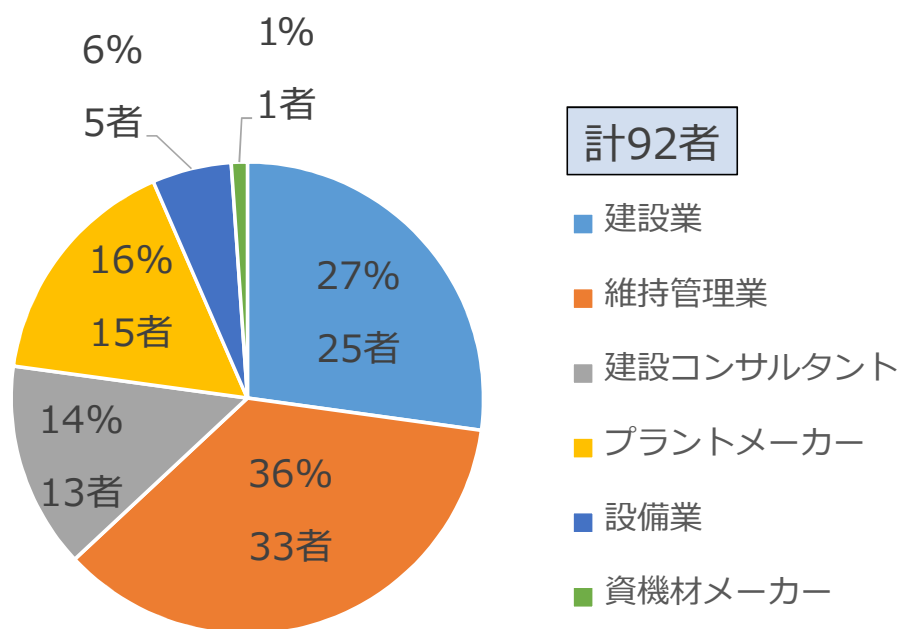
回答率



3.3 業種別の回答率

▶ 業種別の回答

回答事業者業種別一覧



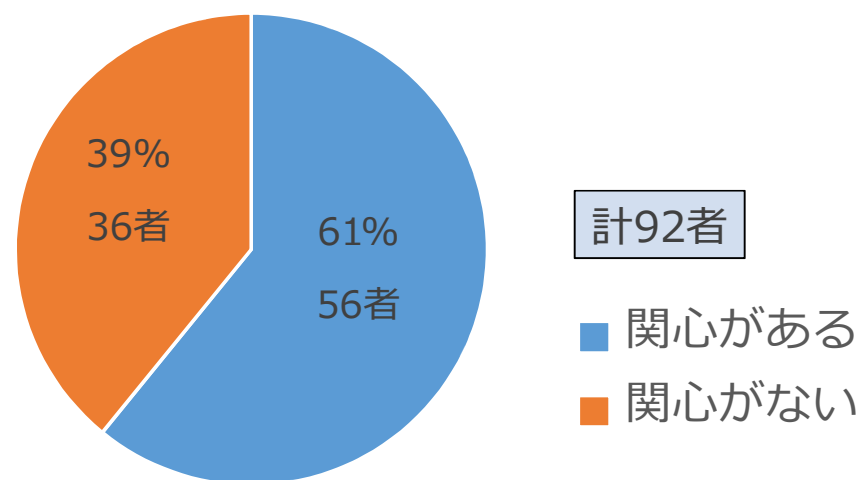
▶ 業種別の回答結果

	全体	回答あり	回答率
建設業	69	25	36%
維持管理業	54	33	61%
建設コンサルタント	27	13	48%
プラントメーカー	19	15	79%
設備業	17	5	29%
資機材メーカー	1	1	100%
計	187	92	49%

3.4 WPPPへの参入意欲

▶ 参入意欲

WPPP参入に対する関心



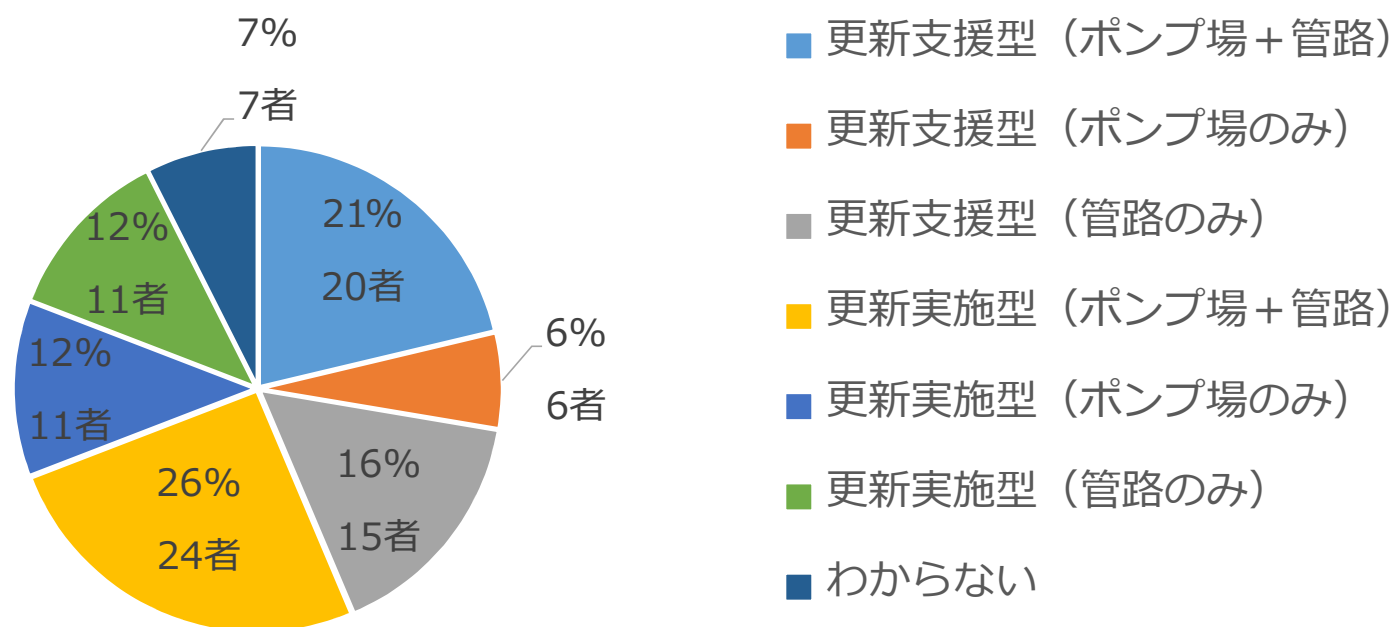
▶ 業種別の参入意欲

	全体	関心あり	率
建設業	69	11	16%
維持管理業	54	25	46%
建設コンサルタント	27	7	26%
プラントメーカー	19	10	53%
設備業	17	2	12%
資機材メーカー	1	1	100%
計	187	56	30%

3.5 WPPPの対象施設・対象範囲

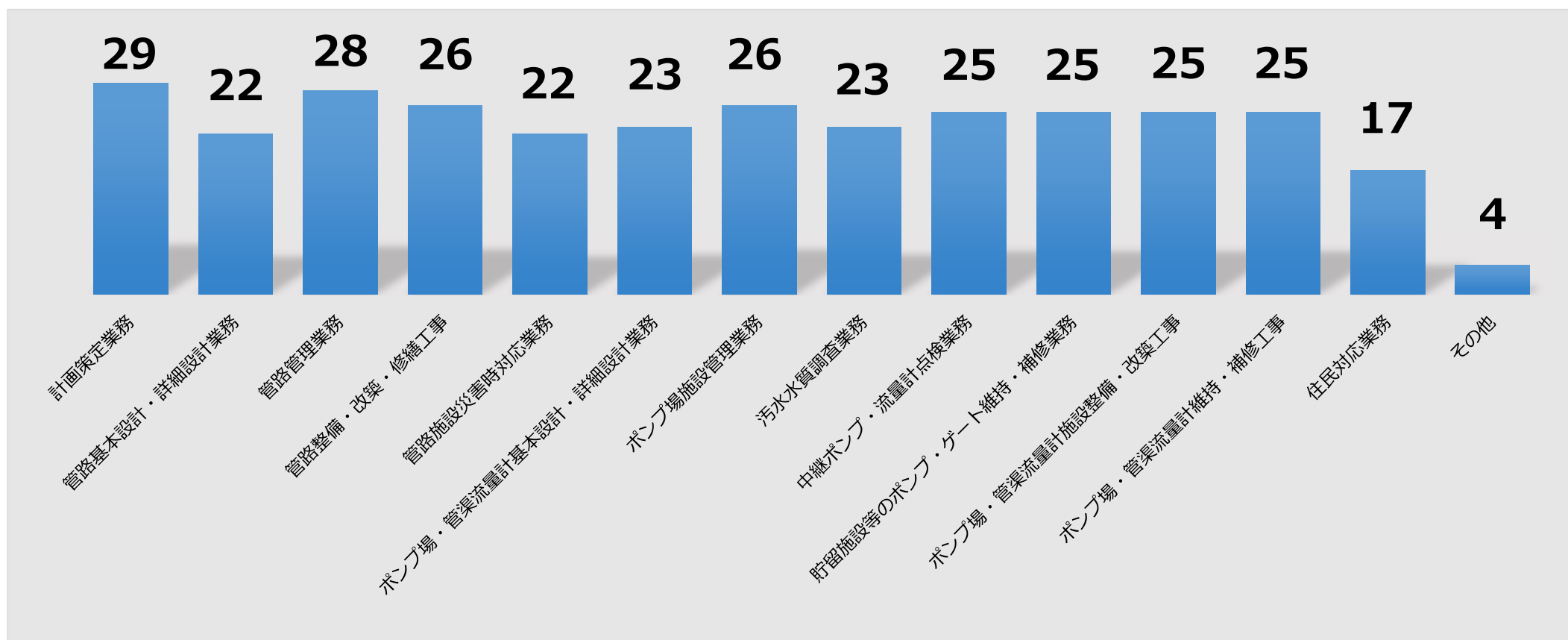
▶ 対象施設・対象範囲（複数回答可）

適当と思う施設および範囲



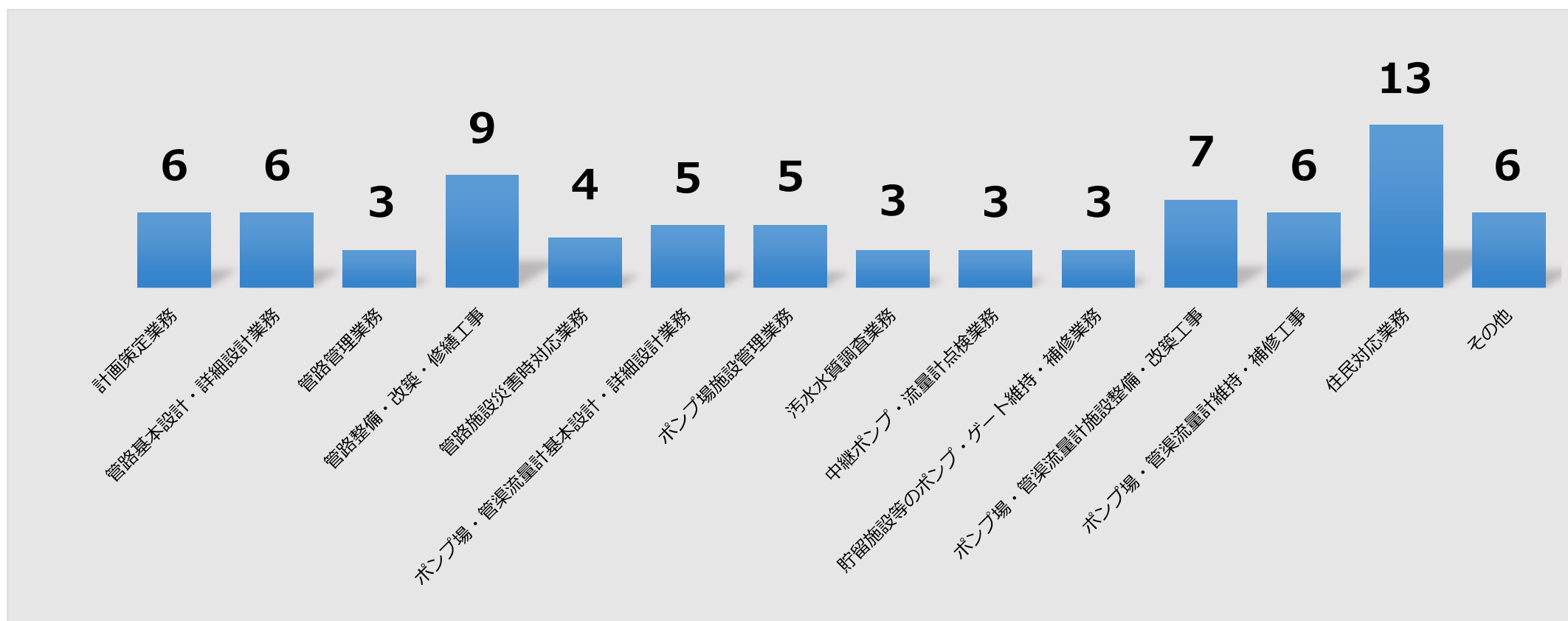
3.6 WPPPに関する業務①

▶含めることが望ましい業務（複数回答可）



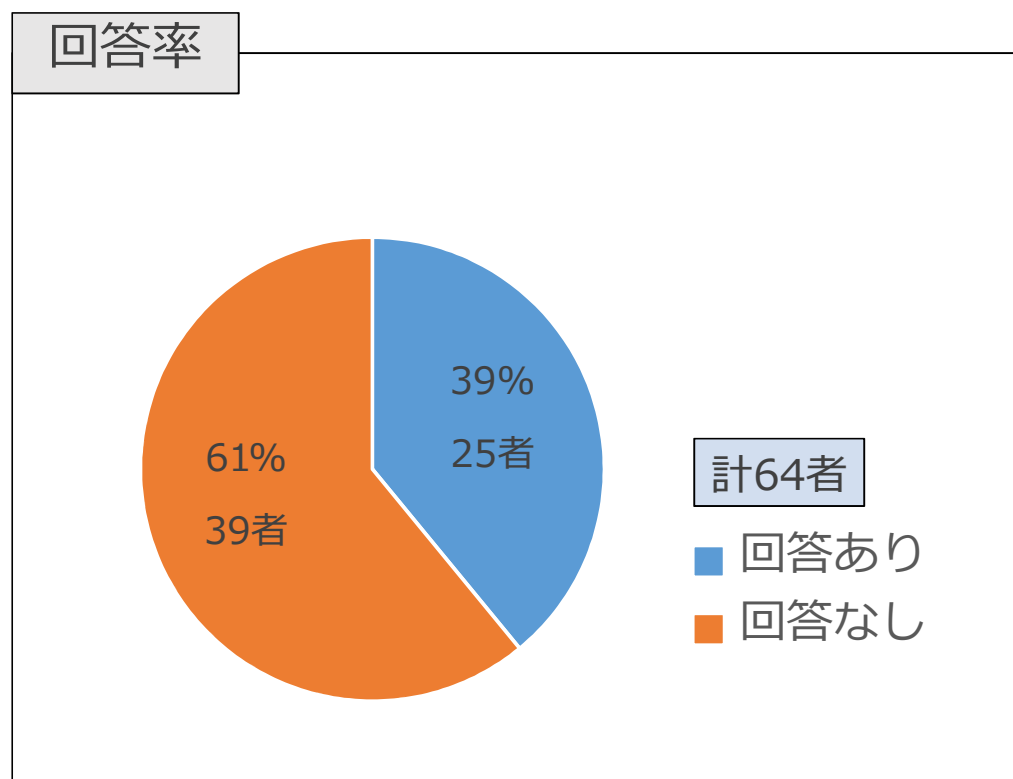
3.6 WPPPに関する業務②

▶含めることが望ましくない業務（複数回答可）

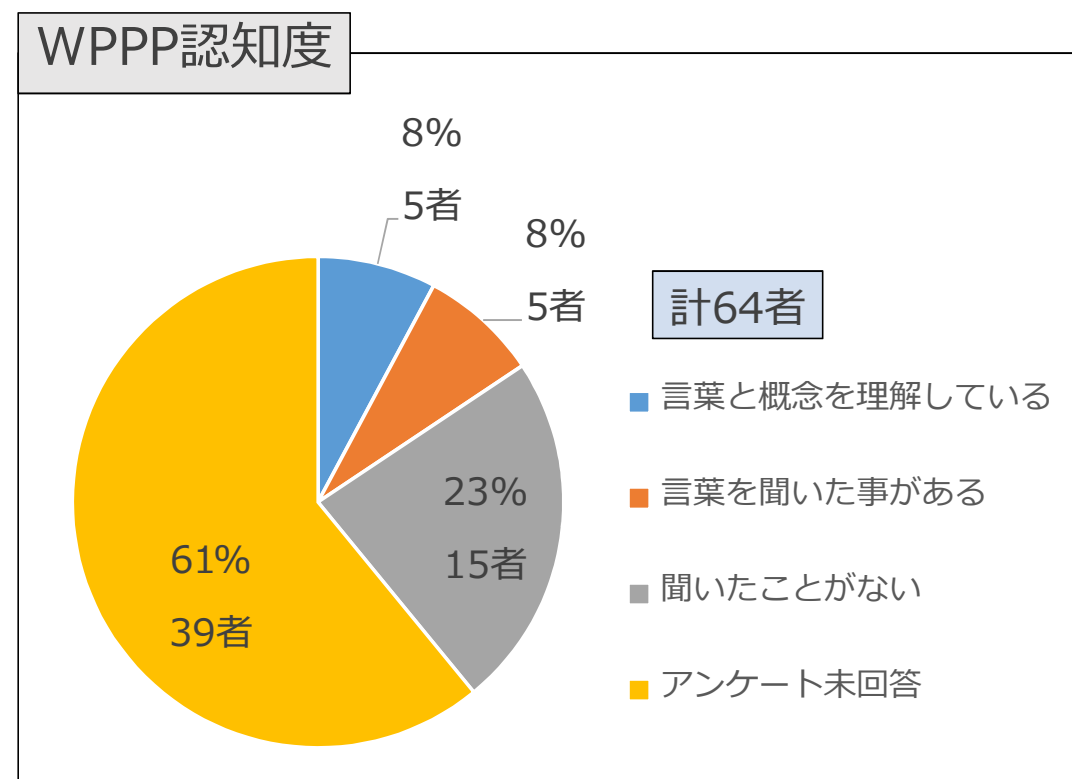


3.7 市内事業者の回答

▶ 回答結果



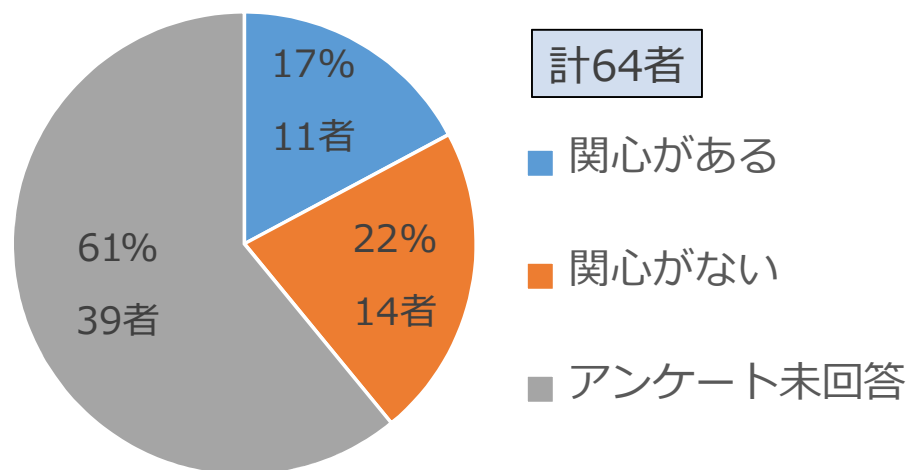
▶ WPPPの認知度



3.8 市内事業者の参入意欲

▶ 参入意欲

WPPP参入に対する関心



▶ 市内事業者の意見

- ・市内事業者にとって、メリットを感じられず、市内事業者の育成に反することになると懸念している。
- ・やむを得ない場合は最小限の範囲であるべきと考える。
- ・管更生を含むべきではない。（2者）
- ・改築工事を含むべきではない。（2者）
- ・緊急修繕工事を含むべきではない。（3者）

4. 「伊丹市公共下水道事業におけるウォーターPPP」の 今後の方針(案)について

4.1 第1回アンケート結果を踏まえた本市の考え

▶ アンケート結果の考察

- ・維持管理業者の積極的な参入意向が見受けられた。
⇒ 污水管路施設を含めたWPPP 成立の可能性は十分にある。
- ・市内事業者に関連する業務（管更生・改築工事・緊急修繕工事）については、反対意見も見受けられた。
⇒ WPPPに含める業務は十分に検討して結論を出す必要がある。
- ・市内事業者のWPPPの認知度については、未回答の事業者を含めると90%以上が理解していないことがわかった。
⇒ 市内事業者にWPPPの理解を深めていただくため、説明の場などを設ける必要がある。

▶ 基本的な考え方

- ・安定的な下水道事業運営に向けて、交付金の活用を継続する。
- ・災害時の対応なども踏まえ、市内事業者との協働を優先させたい。
- ・本局の経営状況等を考慮すると現時点でウォーターPPPの事業規模を広く設定する必要は無い。



ウォーターPPP の要件に合致し、事業の効率化が見込める業務を選定し、事業スキームを形成して行くことが望ましい。

4.2 事業スキーム（案）

▶伊丹市のウォーターPPP事業スキーム（案）

マネジメント方式：管理・更新一体マネジメント方式〔レベル3.5〕

【更新支援型】

事業範囲：伊丹市内全域（2081.76ha）

対象施設：管路施設（污水管渠のみ） 管路延長：484km

業務範囲：対象施設の維持管理、対象施設の更新計画案作成

事業期間：10年間（令和9年度～令和18年度）

4.3 業務範囲について

▶伊丹市のウォーターPPPに含む主な業務（案）

①汚水管渠ストックマネジメント計画策定業務

②汚水管渠調査業務

③汚水管渠清掃業務

④汚水管渠修繕工事（計画）

⑤住民対応業務（汚水管渠の住民要望に係る現地調査および清掃）

▶業務パッケージ（案）

対 象 業 務 (業務パッケージ)	業務分類	業務	内容	従来の委託業務名称
	総括管理業務	総括管理業務	市との連絡窓口、一元管理	
	計画業務	SM計画業務	計画の進捗管理、計画の見直し立案、計画策定	SM計画策定業務
		改築設計業務	SM計画に基づく改築設計	
	計画的 維持管理業務	点検調査業務	SM計画に基づく点検・調査	汚水管渠調査業務
		計画的修繕業務	SM計画に基づく修繕工事	汚水管渠修繕工事（計画）
	日常的 維持管理業務	清掃業務	日常的に発生する管路施設の清掃 （計画的な清掃も含む）	汚水管渠清掃業務
		住民対応業務	日常的に発生する住民要望の受付・現地状況確認・現地対応（現地対応は清掃業務のみ）	

(参考) 今後のスケジュールについて

▶ 導入までのスケジュール



▶ 今年度のスケジュール

日程	実施内容
1月以降	第1回アンケート結果をホームページに公表
1月以降	第2回アンケート調査
3月以降	事業スキームを決定

本日はご参加いただき、ありがとうございました。

▶伊丹市 下水道課 連絡先

メールアドレス : 562200@city.itami.lg.jp

▶関連情報URL

伊丹市上下水道局ホームページ> 官民連携に関するページ :

https://www.water.itami.hyogo.jp/soshiki/kanrika/koumu_gesuitantou/gesuidojigyounikansurukanminrenkeinituite/index.html

国土交通省ホームページ> 官民連携に関するページ :

https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000585.html